

はじめに!

お客さまによって、ボイスワープ(オプション)の各種設定パターンが異なります。

「設定パターンをご確認ください」(P.65)よりお客さまに該当する設定パターンをご確認いただき、正しい操作方法でご利用ください。

ご利用にあたっての設定方法 (早見表 P.67~P.68参照)

1.自動転送に関する設定

(1) 転送先電話番号の登録

転送先リスト(転送先電話番号を事前に登録しておくところ)の番号1へ、電話番号を登録します。
本操作は必ず実施してください。

<p>① 142</p>	<p>① 受話器を上げて 142 をダイヤルします。</p> <p>B で「追加番号(オプション)」をご契約のお客さまのみ—</p> <p>「追加番号」をご契約いただいている場合は、「ボイスワープの設定を行います。」「ボイスワープの設定を行いたい電話番号を市外局番から入力し、最後に「#」を押してください。」というガイダンスが流れます。ボイスワープの転送設定を行いたい電話番号を入力し、「#」を押してください。 ★ボイスワープ契約番号以外の番号を入力した場合、「お客さまの認証に失敗しました。もう一度入力してください。」のガイダンスが流れます。</p>
<p>② ガイダンス</p>	<p>② 「ボイスワープの設定を行います。」</p> <p>A で「追加番号」をご契約のお客さまのみ—</p> <p>「○○○○○○○○○番のボイスワープの設定を行います。」というガイダンスが流れます。</p> <p>「サービスの停止は“0”、サービスの開始は“1”、転送先の登録は“2”、呼出秒数の設定は“3”、その他各種設定は“4”、設定状況の確認は“8”を、他の電話番号の設定を行う場合は“5”を押してください。」というガイダンスが流れます。</p> <p>A で他の電話番号を設定したい場合—</p> <p>5 をダイヤルしてください。「ボイスワープの設定を行いたい電話番号を市外局番から入力し、最後に「#」を押してください。」というガイダンスが流れます。ボイスワープの転送設定を行いたい電話番号を入力し、「#」を押してください。 ②のガイダンスに戻ります。</p>
<p>③ 2</p>	<p>③ 2 をダイヤルしてください。</p>
<p>④ ガイダンス</p>	<p>④ 「転送先リスト1番の転送先電話番号登録を行います。」「登録する電話番号を市外局番から入力し、最後に「#」を押してください。」というガイダンスが流れます。</p>
<p>⑤ 転送先 電話番号+#</p>	<p>⑤ 転送先の電話番号をダイヤルし、最後に # を押してください。</p>
<p>⑥ ガイダンス</p>	<p>⑥ 「入力された電話番号は△△△△△△△△△△です。よろしければ“1”、入力し直す場合は“2”、本設定を中断する場合は“それ以外”を押してください。」というガイダンスが流れます。</p>
<p>⑦ 1</p>	<p>⑦ 電話番号が正しければ、1 をダイヤルしてください。</p>
<p>⑧ 登録完了</p>	<p>⑧ 「設定を更新しています。しばらくお待ちください。」「転送先登録が完了しました。」「サービスメニューに戻る場合は“0”、終了する場合は“0以外”を押すか受話器を置いてください。」というガイダンスが流れます。これで登録は完了です。</p>

- ★転送先の電話番号を間違えますと、転送先の方にも、かけてこられた方にも迷惑がかかります。正確に登録してください。
- ★**パターンAのお客さま** 転送先リスト1番に転送先電話番号が登録されている場合にのみ、転送先リスト1番が転送先に指定されます。
- ★**パターンBのお客さま** 「転送先電話番号の指定」(P.72)が必要となります。
- ★104番や117番などの3桁の番号、フリーアクセス、フリーアクセス・ひかりワイド、フリーダイヤル(いずれもオプション)、ナビダイヤル(電話サービス)、ダイヤルQ[®]、伝言ダイヤル(電話サービス)、#ダイヤル、国際電話番号、0070、0077、0088、001、0081等で始まる事業者識別番号等は転送先としてご利用できません。詳細は「転送先に指定できない番号について」(P.62)を参照してください。

(4) 転送の開始

転送を開始します。 ★転送機能については、P.60をご覧ください。

①	142	① 受話器を上げて 142 をダイヤルします。 B で「追加番号(オプション)」をご契約のお客さまのみ— 「追加番号」をご契約いただいている場合は、「ボイスワープの設定を行います。」「ボイスワープの設定を行いたい電話番号を市外局番から入力し、最後に“#”を押してください。」というガイダンスが流れます。ボイスワープの転送設定を行いたい電話番号を入力し、“#”を押してください。 ★ボイスワープ契約番号以外の番号を入力した場合、「お客さまの確認に失敗しました。もう一度入力してください。」のガイダンスが流れます。
②	ガイダンス	② 「ボイスワープの設定を行います。」 A で「追加番号」をご契約のお客さまのみ— 「○○○○○○○○○番のボイスワープの設定を行います。」というガイダンスが流れます。 「サービスの停止は“0”、サービスの開始は“1”、転送先の登録は“2”、呼出秒数の設定は“3”、その他各種設定は“4”、設定状況の確認は“8”を、他の電話番号の設定を行う場合は“5”を押してください。」というガイダンスが流れます。 A で他の電話番号を設定したい場合— 5 をダイヤルしてください。「ボイスワープの設定を行いたい電話番号を市外局番から入力し、最後に“#”を押してください。」というガイダンスが流れます。ボイスワープの転送設定を行いたい電話番号を入力し、“#”を押してください。 ②のガイダンスに戻ります。
③	1	③ 1 をダイヤルしてください。
④	ガイダンス	④ 「転送条件を設定し、サービスを開始します。無条件転送は“1”、無応答時転送は“2”、話中時転送は“3”、無応答時転送と話中時転送の併用は“4”を押してください。」というガイダンスが流れます。
【無条件転送の場合】		
⑤	1	⑤ 1 をダイヤルしてください。
⑥	設定完了	⑥ 「サービスを開始しました。」「サービスメニューに戻る場合は“0”、終了する場合は“0以外”を押すか受話器を置いてください。」というガイダンスが流れます。これで設定は完了です。
【無応答時転送の場合】		
⑤	2	⑤ 2 をダイヤルしてください。
⑥	設定完了	⑥ 「サービスを開始しました。」「サービスメニューに戻る場合は“0”、終了する場合は“0以外”を押すか受話器を置いてください。」というガイダンスが流れます。これで設定は完了です。
【話中時転送の場合】		
⑤	3	⑤ 3 をダイヤルしてください。
⑥	設定完了	⑥ 「サービスを開始しました。」「サービスメニューに戻る場合は“0”、終了する場合は“0以外”を押すか受話器を置いてください。」というガイダンスが流れます。これで設定は完了です。
【無応答時転送と話中時転送の併用の場合】		
⑤	4	⑤ 4 をダイヤルしてください。
⑥	設定完了	⑥ 「サービスを開始しました。」「サービスメニューに戻る場合は“0”、終了する場合は“0以外”を押すか受話器を置いてください。」というガイダンスが流れます。これで設定は完了です。
★ご契約時のサービスの状態は転送「停止」に設定されています。 ★転送先電話番号を登録せずに転送の開始操作を行った場合には、④で「転送先の電話番号が登録されていません。」というガイダンスが流れます。 ★ パターンAのお客さま セレクト機能が開始されていた場合に、「142+0」で転送の停止を行ったとしてもセレクト機能は開始の状態を保持します。また「転送の開始」を行っても、セレクト機能を続けてご利用いただけます。 ★ パターンBのお客さま 「142+0」で転送の停止を行うと、「セレクト機能の停止」も同時に行われます。また「転送の開始」を行っても、セレクト機能は開始されません。		

(5) 転送の停止

転送を停止します。

①	142	① 受話器を上げて 142 をダイヤルします。 B で「追加番号(オプション)」をご契約のお客さまのみ— 「追加番号」をご契約いただいている場合は、「ボイスワープの設定を行います。」「ボイスワープの設定を行いたい電話番号を市外局番から入力し、最後に“#”を押してください。」というガイダンスが流れます。ボイスワープの転送設定を行いたい電話番号を入力し、“#”を押してください。 ★ボイスワープ契約番号以外の番号を入力した場合、「お客さまの確認に失敗しました。もう一度入力してください。」のガイダンスが流れます。
②	ガイダンス	② 「ボイスワープの設定を行います。」 A で「追加番号」をご契約のお客さまのみ— 「○○○○○○○○○番のボイスワープの設定を行います。」というガイダンスが流れます。 「サービスの停止は“0”、サービスの開始は“1”、転送先の登録は“2”、呼出秒数の設定は“3”、その他各種設定は“4”、設定状況の確認は“8”を、他の電話番号の設定を行う場合は“5”を押してください。」というガイダンスが流れます。 A で他の電話番号を設定したい場合— 5 をダイヤルしてください。「ボイスワープの設定を行いたい電話番号を市外局番から入力し、最後に“#”を押してください。」というガイダンスが流れます。ボイスワープの転送設定を行いたい電話番号を入力し、“#”を押してください。 ②のガイダンスに戻ります。
③	0	③ 0 をダイヤルしてください。
④	ガイダンス	④ 「サービスを停止します。しばらくお待ちください。」「サービスを停止しました。」というガイダンスが流れます。
⑤	設定完了	⑤ 「サービスメニューに戻る場合は“0”、終了する場合は“0以外”を押すか受話器を置いてください。」というガイダンスが流れます。これで設定は完了です。
★ご契約時のサービスの状態は転送「停止」に設定されています。 ★ パターンAのお客さま セレクト機能が開始されていた場合に、「142+0」で転送の停止を行ったとしてもセレクト機能は開始の状態を保持します。また「転送の開始」を行っても、セレクト機能を続けてご利用いただけます。 ★ パターンBのお客さま 「142+0」で転送の停止を行うと、「セレクト機能の停止」も同時に行われます。また「転送の開始」を行っても、セレクト機能は開始されません。		